

本紙に「報道の自由賞」

外国特派員協会

裏金報道「政治体制揺るがした」

公益社団法人・日本外国特派員協会は、自民党派閥を巡る一連の裏金報道で「日本の政治体制を揺るがした」として、「しんぶん赤旗」を、2025年「報道の自由賞・日本賞」に選びました。同協会は30日夜、授与式を開き、受賞者を公表しました。小木曾陽司・赤旗編集局長、三浦誠編集委員・社会部長が出席し、小木曾氏が受賞スピーチをしました。

↓関連④面

授賞理由で、「しんぶん赤旗」は自民党の不正な政治資金スキャンダル、特に党内派閥内でのキックバックの摘発できわめて重要な役割を果たした」「最大のスクープは、選挙期間中に

ズムの重要な役割を証明するもの」とたたえました。日本外国特派員協会は1945年に、アジア・太平洋戦争終結に伴い日本に着任した外国メディアのジャーナリストらが設立しました。報道の自由賞は「報道の自由の価値に貢献した優れた」メディア組織などに与えられます。「赤旗」の一連の報道はこの間、JCJ大賞、日隅一雄・情報流通促進賞、アンビシャス賞などを受賞しています。小木曾氏はスピーチで、授賞に感謝を表明すると

ウオッチドッグ・ジャーナリズム 調査報道で権力を監視する番犬としての役割を果たすジャーナリズムのこと。

ユーチューブで担当記者ら対談

昨年の総選挙で自民党非公認候補へ2000万円を提供したスクープについては、担当記者らの対談を31日午後7時から「赤旗YouTubeチャンネル」で配信します。

暮らし応援都政に

田村委員長・小池書記長

都議選2025

日本共産党の田村智子委員長、小池晃書記局長は30日、それぞれ都内で街頭演説に立ち、かつてない大激戦となる東京都議選への見

恵子都議候補（北区）の必勝を訴えました。夜のとばりが降り始めた駅前広場には、たくさんの方がつけかけ、熱い声援を送りました。

田村氏は、都議会野党第1党の党都議団の豊かな実績を紹介。その上で、質上

日本外国特派員協会の「報道の自由賞」を受賞する小木曾陽司「しんぶん赤旗」編集局長（中央）と三浦誠同社会部長＝30日、東京都千代田区

